

経営比較分析表（平成29年度決算）

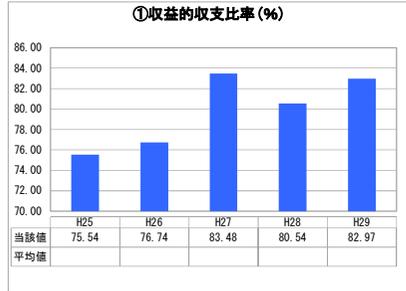
岩手県 一関市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	31.86	94.26	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
119,273	1,256.42	94.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
37,675	13.56	2,778.39

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



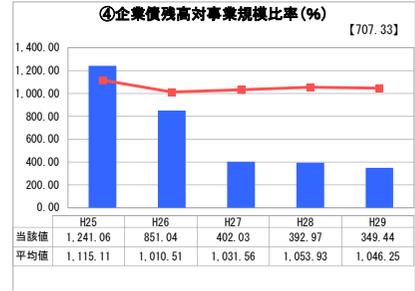
「単年度の収支」



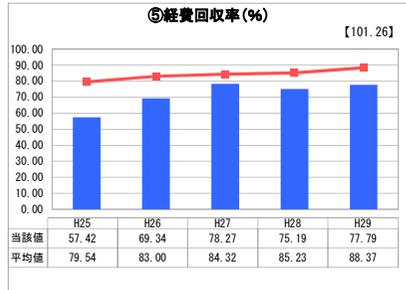
「累積欠損」



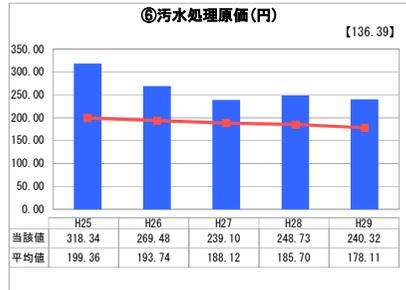
「支払能力」



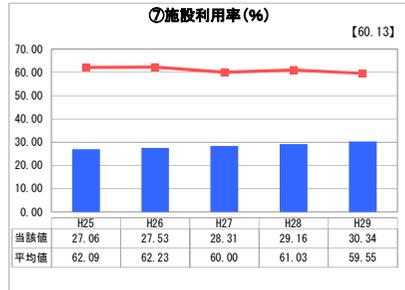
「債務残高」



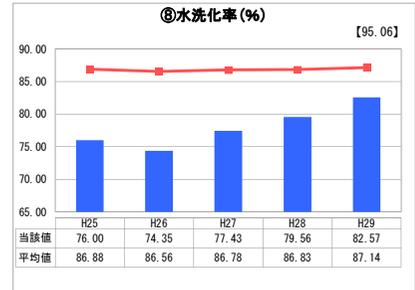
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

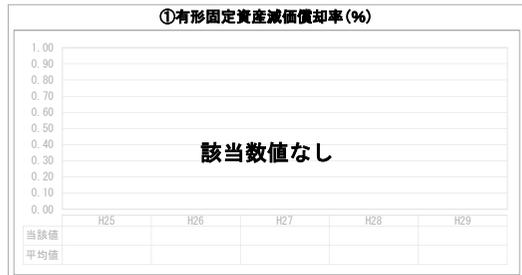


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

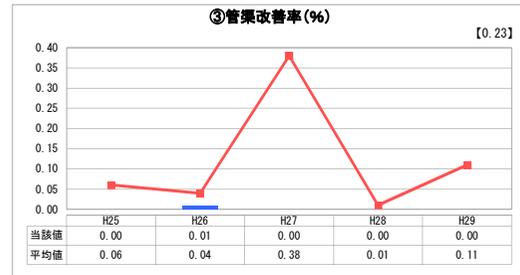
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

現在下水道整備中の一関・千厩地域は、普及の途中段階であり水洗化率が低いと見られ、使用料収入のみでは投資にかかった企業債の償還を賄えていないため、一般会計から繰り入れている状況です。

経費回収率・水洗化率・汚水処理原価は改善傾向にありますが、類似団体に比べると低水準にあり、広域化・共同化による維持管理費の削減や、普及促進による有収水量の増等により、更なる経営の効率化を図っていく必要があります。

なお、施設利用率については、岩手県が管理する流域下水道の一関浄化センター分は含まれておりません。

2. 老朽化の状況について

供用開始からH29年度末で28年が経過しており、今後、管渠の老朽化が進むことが想定されることから、平成28年度に策定した一関市下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的に管渠の点検・調査・改築を行うなど、予防保全型の取組を進めていきます。

全体総括

持続的で健全な汚水処理事業の経営のため、中長期的な財政見通しを基に、効率的で安定した汚水処理事業の経営に向け、下記の取組を進めます。

- ① 効率的で安定した経営を目指すため、平成28年度に策定した経営戦略を踏まえ、平成32年度から地方公営企業会計へ移行
- ② 将来的な経営を見通した施設の統廃合、組織体制や使用料の見直し
- ③ 整備区域における地域ニーズや周辺環境への影響を踏まえた効率的な整備手法の検討

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。